



鏡池清掃（清い気持ちになれました）

先月の14日（日）、～文化庁が選ぶ「日本遺産」出羽三山神社～「神の領域」とされる鏡池とその周辺を、昨年に続き2回目となる掃除実践をさせていただきました。

「西の伊勢参り」「東の奥参り」と並び称され、“双方を詣でることは重要な人生儀礼のひとつ”と古くより伝えられてきましたが、近時は「西の伊勢参り」が（日本最大のイベントといわれるまでに）人気を博しているのが実情のようでした。それでもようやく県内の旅行関係者を中心に官民あがてのキャンペーン活動が攻を奏し、「東の奥参り」も3年前から復活されております。そこで今年も東の奥参りの季節を迎えて、出羽三山神社の「三神合祭殿」と「鏡の池」として信仰を集めてきた池の周辺を、山形掃除に学ぶ会のメンバーが中心となり、出羽三山神社の職員や応募のあった一般の方々も加わり約110名で、昨年に比べ大掛かりな清掃活動を行うことができました。



神社三神合祭殿で厳かな神事を行った後、胴長姿で鏡池の中に入り、自生するコウホネや水中に堆積したスギの枯れ枝を取り除いたほか、周辺の除草や落ち葉拾いに励み、神聖な鏡池をシーズン始めにふさわしくきれいにすることができました。

休憩をはさんでの約2時間、綺麗になった境内に楯宜(ねぎ)の吉住さんより「雪解け後の清掃は大変難儀で、お手伝いは有難く、来年もぜひお願いしたい」と言っていました。

私共にとりまして、聖なる自然の霊気や畏怖を感じながら掃除し、斎館の美味な名物“精進料理”をいただくなど、参加された皆さんからも喜んでいただくことができました。

日本遺産の登録が契機となり、訪れる参拝者はますます増加するものと期待される出羽三山神社エリア、まずは県民の一人でも多くが訪れることによって、その文化を全国に発信していかなければならない!! と強く感じました。綺麗になった鏡池でお迎えできる私共にも嬉しい「出羽三山掃除に学ぶ会」となりました。

黒沼 範子



楯宜の吉住さん